

# 航空機騒音対策を推進

## 路線バス運行へも補助



騒音対策は今後も重要課題

昭和53年5月に、4,000mの滑走路1本で開港した成田空港もまもなく丸15年を迎えようとしています。

この間町では、騒音下地域の住宅をはじめ、学校・保育所等の公共施設の防音工事や空調機器の更新事業など環境対策を進めてきました。

また、併せて開港当初は、予想もしなかった航空機からの落下物や飛行コースの乱れ、予想以上の騒音、或いは諸対策の推進等について、再三にわたり関係機関に要望、陳情を重ねてきたところでありま

す。平成5年度も次のような事業を計画しております。

- ◆騒音測定事業 204万円
- ◆空調機器更新事業



路線バスは身近な交通機関

地域の皆さんの身近な交通機関として、重要な役割を果たしてきた路線バスも、家用車の普及により年々利用者が減少し、路線の運行維持が危ぶまれています。町では、赤字路線が廃止されないようバス会社に補助金を出し路線の確保に努めています。

316万円

◆空調機維持管理事業 375万円

◆住宅防音事業 602万円

◆騒音障害防止対策事業 870万円  
3,070万円

# 防災体制の強化

一瞬にして全てを灰にしてしまう恐ろしい火災。昨年当町では13件の火災が発生しています。その内の4件は建物火災でした。

町では、町民の皆さんが安心して生活できるように、防災施設の整備をすすめておりますが、本年度も消防自動車の更新や防火水槽の増設、防災行政無線の設置などを行ない、防災体制の充実を図っていきます。また、道路照明灯やカーブミラーを増設し、事故犯罪防止に努めます。

◆小型動力ポンプ及び積載車購入 1,500万円



役場庁舎内の無線室



消防団は防災の要(昨年の中継訓練)

◆道路照明灯設置事業 1,230万円  
500万円

◆カーブミラー設置事業 250万円